

理科(物理・化学・生物・地学) 同志社大学 全学部日程 [理系] (2/4実施)

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

記述, 選択, 計算, 論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

時間のわりに計算問題が多い。

その他トピックス

小問集合的な内容が多くなった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	記述 論述 選択 計算	小問集合 (酸化還元中心)	化学	酸化還元を題材にして, 酸化還元反応のイオン反応式, 過マンガン酸カリウム滴定時に, 塩酸や硝酸酸性を用いるのが, 不適切な理由の論述, 固-気平衡の計算, 平衡定数の計算, 酸化剤の強さの順などが含まれた総合問題である。また, 金属イオンの反応も含まれている。	標準
[II]	選択 記述 計算	小問集合 (理論化学)	化学	分子間力と沸点, 融点, 結晶とアモルファス, 加水分解, 熱化学, 濃度計算, 溶液の凝固点, 固体の溶解度, 電離平衡, ヘンリーの法則などの内容である。	標準
[III]	選択 記述 計算	小問集合 (有機化学)	化学	アルコールの性質と反応, 脂肪族アルコールの異性体, デンプンの加水分解とアルコール発酵, アルデヒドとケトンの還元生成物, アルキンの反応, エステルの合成実験, 油脂などの内容である。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 理論・無機・有機をまんべんなく学習しておくこと。
2. 基礎的な事項を十分整理してマスターしておくこと。
3. 記述問題もあるので、平素から書く練習をしておくこと。
4. 計算問題は、正確な計算力をつけておくこと。
5. 問題演習を十分に行っておくこと。
6. 高分子も十分に演習しておくこと。
7. 実験装置・操作についても、注意しておくこと。